

取扱説明書

# *POWERFUL REIFU*

パワフル冷風機  
MPR 40

 **WAKITA & CO.,LTD.**



# はじめに

このたび当社製品パワフル冷風機をお買い上げ頂き誠に有難うございます。

まず、次の点を確認して下さい。

- 機種は、御注文通りのものかどうか…
- 輸送中の事故で、破損していないかどうか…
- 付属品が全部そろっているかどうか…

もし、不具合な点がありましたら、製造番号と共に購入店または弊社支店・営業所へお知らせください。

**本機は冷風を室内に送り込む機械です。  
他の目的で使用される時は弊社営業所に問い合わせして下さい。**

**製品は取り扱いを誤ると、事故や故障の原因になります。**

**ご使用前に本書を最後まで熟読して下さい。10分あれば読めます。**

- 冷風機についてよくご存じの方でも、この製品独自の取り扱い方法がありますので必ずお読みいただいたうえでご使用下さい。
- 本書では、製品の正しい取り扱い方法や簡単な手入れ方法について記載してあります。
- 不明のところは製品の購入店または弊社支店・営業所におたずね下さい。

なお、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご了承ください。

---

※製品を譲られる場合は、次の運転者のために本書と一緒にお渡し下さい。

# 目次

---

## 安全に関する表示

第1章 安全作業のために	1
一般事項	1
第2章 各部の名称と仕様	7
2-1 外観	7
2-2 コントロールパネル、リモコン	8
第3章 各部の取扱い	9
3-1 コントロールパネル	9
3-2 リモコン	11
第4章 運転の前に	12
4-1 設置	12
4-2 給水	13
第5章 運転	14
5-1 運転	14
第6章 停止	15
6-1 停止	15
第7章 保守、点検	16
7-1 背面フィルターの清掃	16
7-2 冷却エレメントの清掃	17
7-3 タンクの洗浄	18
7-4 本体・シャッターの清掃	18
第8章 保管	19
8-1 保管	19
第9章 トラブルシューティング	20
9-1 トラブルシューティング	20

# 安全に関する表示

安全規則を守らない作業は重大事故の発生につながります。

製品の運転や日常点検の前には、必ずこの取扱説明書をよく読み、十分に理解して下さい。

本書及び当製品で使用する安全に関する表示は、その内容や危険の度合いにより次のように使い分けてあります。

## ▲ 危 険

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る切迫した危険が存在していることを示します。  
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

## ▲ 警 告

重大な人身事故もしくは死亡事故に至る可能性のある危険が存在していることを示します。  
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

## ▲ 注 意

人身事故もしくは製品の重大な破損に至る可能性のある危険が存在していることを示します。  
メッセージには、危険の内容とその危険を回避するための予防措置が記載されています。

## 重 要

製品の損傷や著しい性能低下を招く可能性のあることを示します。  
メッセージには、それらを回避するために守らなければならない注意事項が示されています。

当社では、あらゆる環境下における作業において起こりうるすべての危険を予測することはできません。したがって、本書に記載されている注意事項はすべてを網羅したものではありませんので、お客様の責任において、十分な注意を払って製品をご使用頂くようお願いいたします。

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 lines spaced evenly down the page.

# 第1章 安全作業のために

## 安全上の基本的注意事項

### 一般事項

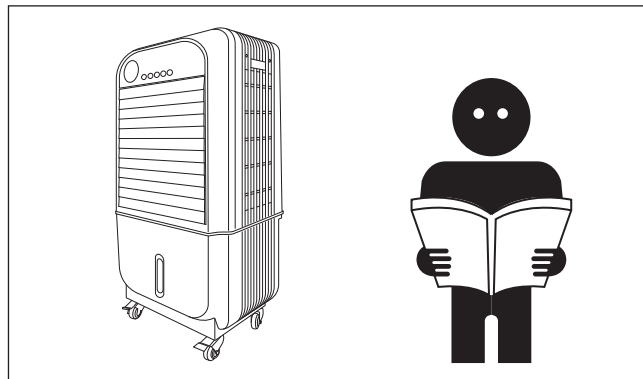
安全運転のために、次のことがらを必ず守って下さい。

#### 1. 取扱説明書を読む

##### ⚠ 警告

取扱説明書を良く読み理解するまで運転しないでください。誤った方法による運転操作は非常に危険であり人身事故を起こす原因になります。

- 取扱説明書は常に保管し、本製品を取扱うすべての人が繰り返し読むようにして下さい。
- 子供や説明をうけていない大人に運転させない様、注意して下さい。



#### 2. 指定用途以外に使用しない

##### ⚠ 警告

- 故障の恐れがありますので「塵埃」などを吸い込ませないで下さい。
- 指定の用途以外でご使用になる場合は事前に弊社にご相談下さい。

##### ⚠ 注意

気化式冷風機はエアコンとは違い、室内全体の温度を下げることは出来ません。また、閉め切った部屋等での使用は、湿度が高くなるため、気化しにくくなり冷風効果を十分に得られなくなります。

#### 3. ファン等の回転部への巻き込まれに注意

##### ⚠ 警告

- ファン等の可動部に、手や衣類などを近づけないようにして下さい。
- タンク内部の清掃・点検や冷却エレメントの脱着をする時は必ずスイッチを切りファンの回転が停止していることを確認してから行って下さい。



#### 4. 適切な環境・状態で使用する

##### ⚠ 警 告

- 爆発性の粉塵・酸・アルカリなどの腐食性ガスが発生、または発生の恐れのある場所、引火性、可燃性ガスがある場所で使用しないで下さい。
- 氷結するような場所では使用しないで下さい。
- 塵・埃の少ない場所で使用して下さい。
- 本体が安定するよう、水平で凹凸がない、振動の影響を受けにくい場所に設置して下さい。
- 周辺に吸入されやすい物がなく、ファンの吸気を妨げる物がない場所に設置して下さい。
- タンクの水量は常に点検して下さい。
- フィルターは常に清潔し、清潔に保って下さい。
- 使用する水は、水道水を使用して下さい。汚れた水を使用しないで下さい。
- 冷風機の風下に火を使う電化製品をおかないで下さい。一酸化炭素が発生する恐れがあります。

#### 5. 運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時は停止する

##### ⚠ 警 告

運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時はただちに運転を停止して、電源の接続を外し、購入店または弊社支店・営業所にご相談ください。故障と思われる場合でも本体を分解したりしないで下さい。感電・火災及びけがの原因になります。

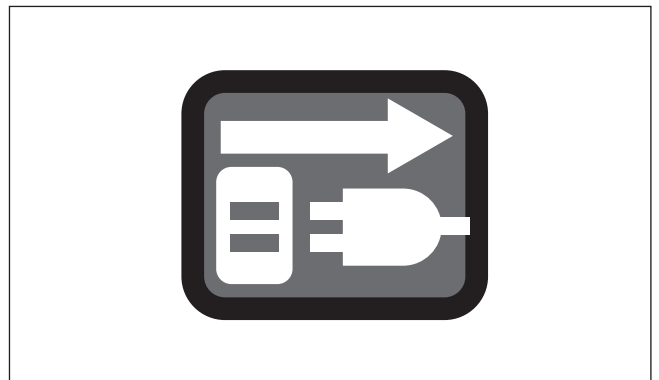
#### 6. 保守・点検・手入れの前には電源を外す

##### ⚠ 警 告

- お手入れの前には必ずスイッチを切り、電源プラグを抜きファンの回転が停止していることを確認して下さい。
- 電源をいれたまま分解・清掃すると、誤ってスイッチに触れモーターが回転しけがをする恐れがあります。
- 使用しない時や停電時は電源プラグを抜いて下さい。

##### ⚠ 注 意

- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター、冷却エレメントを掃除して下さい。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用して下さい。  
(清掃時は必ず電源を抜いた状態で行って下さい。)

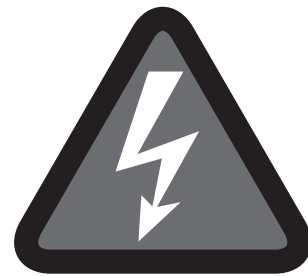
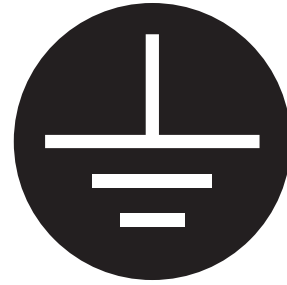




## 7. 感電に注意する

### ⚠ 警 告

- 確実にアースを設置して下さい。
- 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは必ずプラグをもって抜いて下さい。コードを持って抜かないで下さい。ショートをする恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、曲げたり、強く引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないで下さい。電源コードの上に重いものを乗せないで下さい。電源コードが劣化していたり、絡まったり、損傷している場合は使用しないで下さい。



## 8. 運搬時の注意

### ⚠ 警 告

運搬時には必ずタンク内の水を抜き「空」の状態にして下さい。

## 9. 保管について

### ⚠ 注 意

- 長期間保管する時はタンク内の水を抜き、冷却エレメントをよく乾燥して下さい。
- 冷却エレメントの乾燥は送風モードで、1時間以上運転すれば冷却エレメントを乾燥することができます。  
(タンク内に水を入れたまま保管すると故障の原因になります。)
- 長期間にわたり保管される場合は温度変化の少ない乾燥した場所で保管して下さい。
- 本体に異物が侵入しないようにカバー等で覆って下さい。



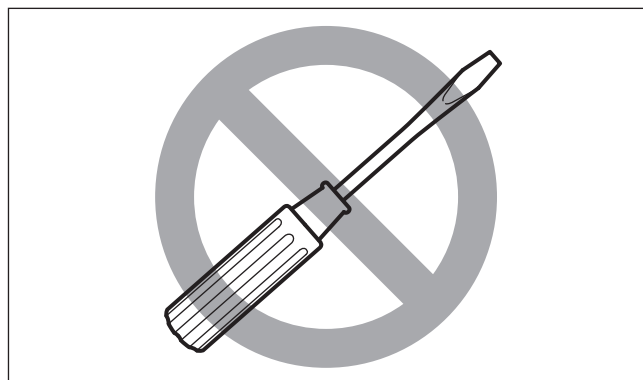
---

## 10. タンク内の水を長時間放置しない

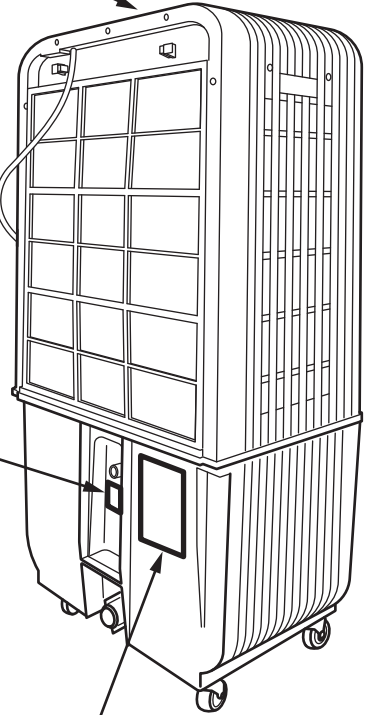
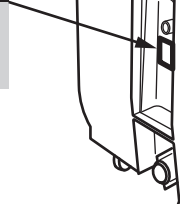
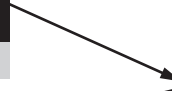
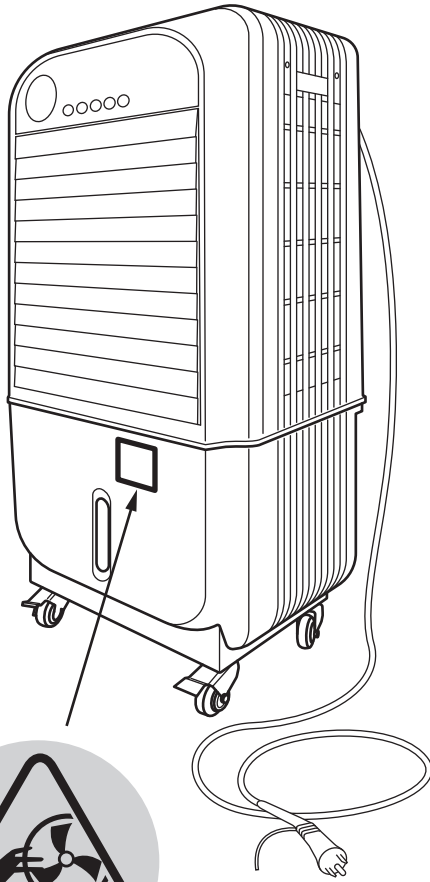
水タンクに長時間水を入れたままにしておくと、臭いやカビの発生の原因になります。こまめに、新しい水への入れ替え、冷却エレメントの清掃をするようにして下さい。

## 11. 改造の禁止

- 保障の適用外になりますのでメーカーに無断で改良しないで下さい。
- 冷風機の修理は購入店または弊社支店・営業にご依頼ください。



# 安全ラベルの貼付け位置



**ご使用前に取扱説明書を必ずよく読んでください。**

- 取扱説明書は常に保管し、良く読み理解するまで操作しないでください。
- 子供や説明書を理解していない人に操作させないように注意してください。

**警告**

**指定用途以外に使用しない**

- 故障の恐れがありますので「雷災」等を避けさせていただきます。
- 指定の用途以外で使用には保証は事前にお知らせください。

**ファン等の回転部への巻き込まれに注意**

- ファン等の回転部に、手や指などを近づけないようにしてください。
- 冷却エレメントの巻き込みを防止するためファンを切り止める際は必ず電源を切り、ファンを切り止めた後から行ってください。

**適切な環境・状態で使用する**

- 可燃性の粉塵・油・アルカリなどの腐食性ガスが発生、または発生する恐れのある場所では使用しないでください。
- 水結露するような場所では使用しないでください。
- 風・塵・埃の少ない場所で使用してください。
- 本体が安定するよう、設置する地面は凹凸がなく、振動の影響を受けにくい場所に設置してください。
- 周辺に風が入りやすい隙がなく、ファンの吸気を取り除く物が無い場所に設置してください。
- タンクの水量は常に点検してください。
- オイルは定期的に清掃し、適量に保ってください。

**運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時は停止する**

- 運転中に異常音・異常振動・異臭が生じた時はただちに運転を停止してください。電源の接続を外し、弊社またはお買い上げの販売店にご相談ください。故障と思われる場合でも本体を分解したりしないでください。故障・火災の及ぼす原因となります。

**保守・点検・手入れの前には電源の接続を外す**

- 電源プラグには必ずスイッチを切り、電源プラグを抜きファンが回転が停止していることを確認してください。
- 電源をいれたまま分解・掃除すると、誤ってスイッチが触れモーターの回転でけがをする恐れがあります。
- 使用しない時や停電時は電源プラグを抜いてください。

**感電に注意する**

- 確実にアースを設置してください。
- 濡れた手で電源プラグやコントロールには触れないでください。

**運転時の注意**

- 運転時は必ずタンク内の水を抜き空の状態にしてください。

**保管について**

- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター、冷却エレメントを掃除してください。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用してください。
- (清掃時は必ず電源を抜いた状態で行ってください。)
- 長期保管する場合はタンク内の水を抜き、冷却エレメントを良く乾燥してください。
- 冷却エレメントの乾燥は速速に、1時間以上運転すれば乾燥します。(タンクに水を入れたまま保管すると故障の原因となります。)

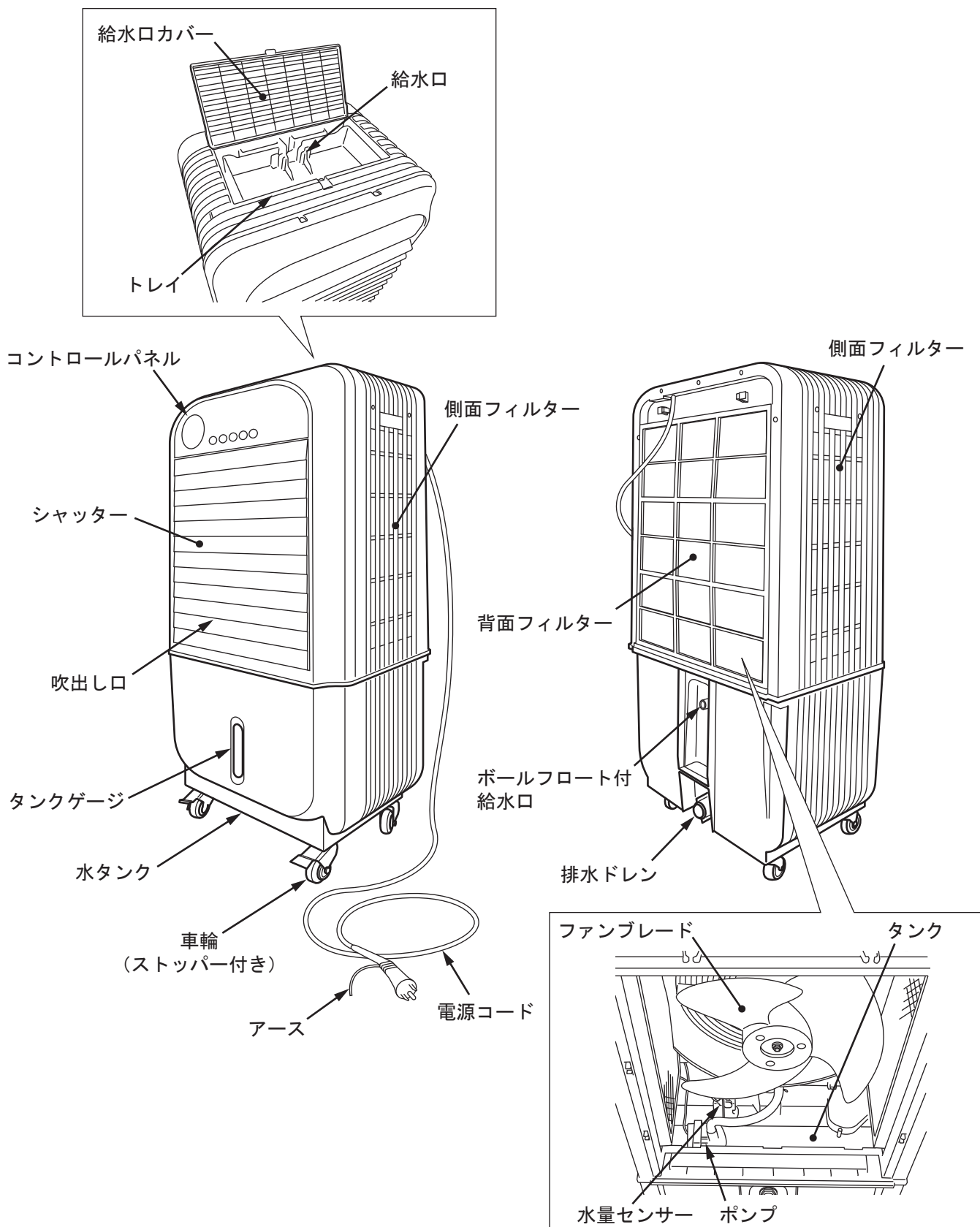
型 式		MPR40
電 源	(V)	単相 100
周 波 数	(Hz)	50/60
消費電力	(w)	110/127
風 量	(m <sup>3</sup> /min)	56/58
水蒸発量	(L/h)	2.5 (24°C、56%RH) / 2.6 (24°C、55%RH)
タンク容量	(L)	41
連続使用時間	(h)	16.4/15.8
給水方式		タンク貯水式 (自動給水可能)
安全装置		水切れ検知・モーター加熱保護
運転音 (騒音)	dB(A)	57/58
ファン径	(mm)	346
寸法 (幅×奥行×高さ)	(mm)	495 × 350 × 1042
質 量	(kg)	17.5
風向・風量		上下手動・左右自動スイング、風量可変
そ の 他		殺菌 UV ランプ搭載
付 属 品		リモコン、保冷剤

注：仕様は予告なく変更することがあります。

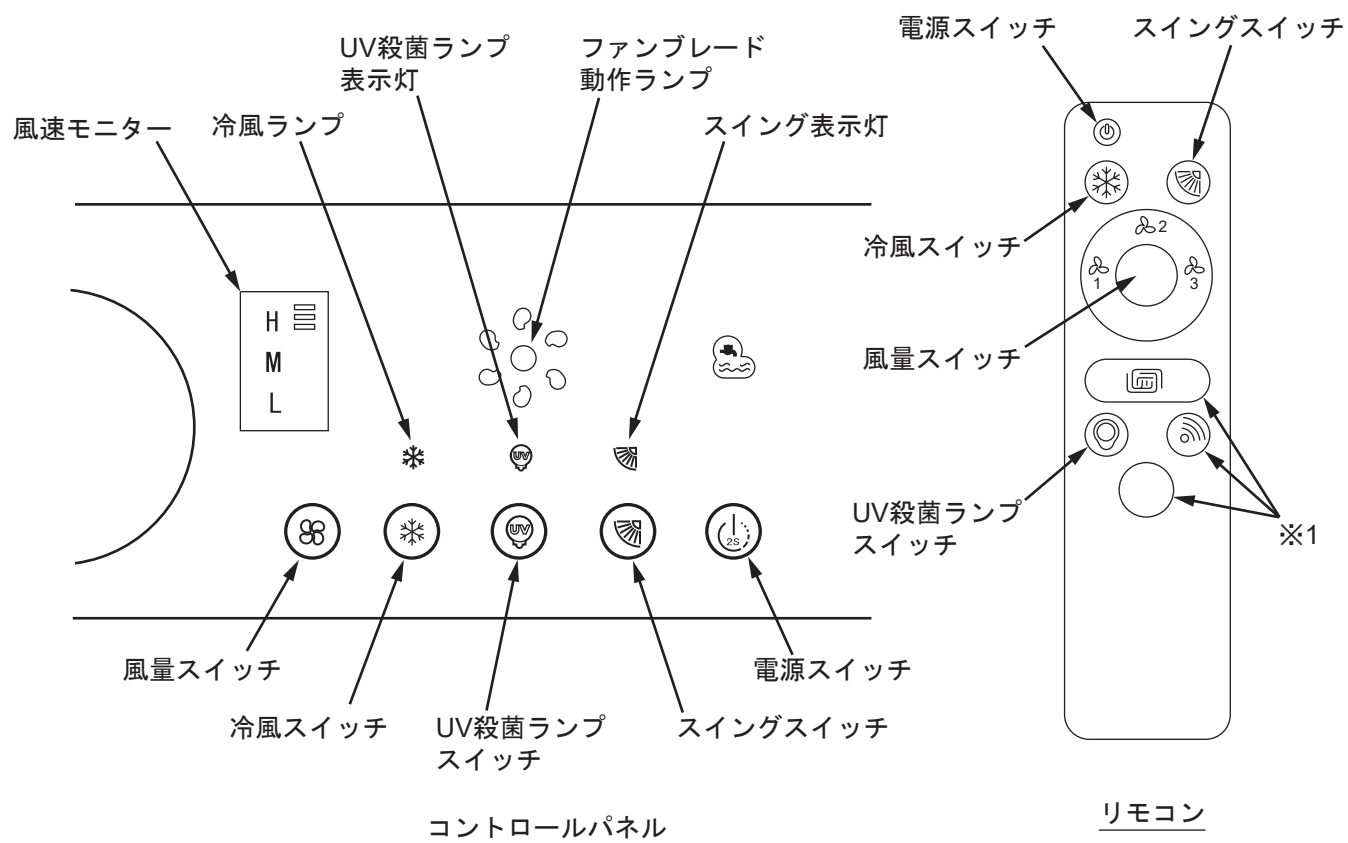
※気化式冷風機の能力は使用環境の温度と湿度の影響を大きく受けます。

## 第2章 各部の名称と仕様

### 2-1 外観



## 2-2 コントロールパネル、リモコン



注：※1の機能は搭載されていません。

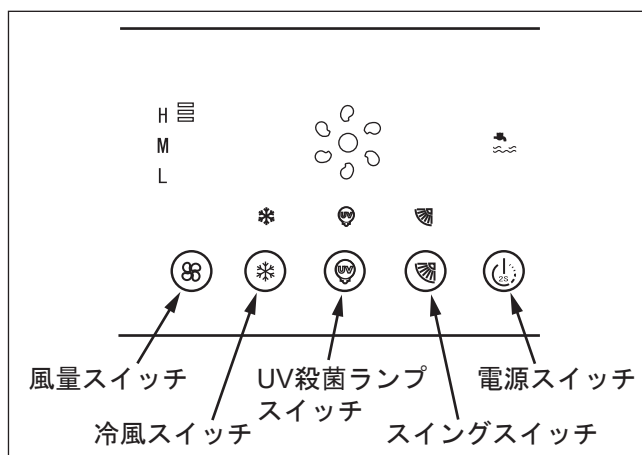
# 第3章 各部の取扱い

## 3-1 コントロールパネル

### 電源スイッチ

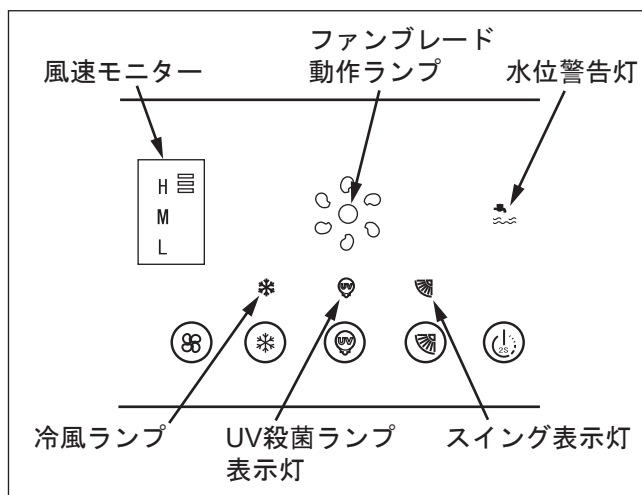
電源を接続して電源スイッチを**2秒間長押し**するとファンブレード動作ランプと風速モニターが点灯し送風モードになります。運転中に電源スイッチを2秒間長押しすると送風を停止し、ファンブレード作動ランプ、風速モニターが消灯します。

重 要
送風モードではUV殺菌ランプスイッチの操作はできません。



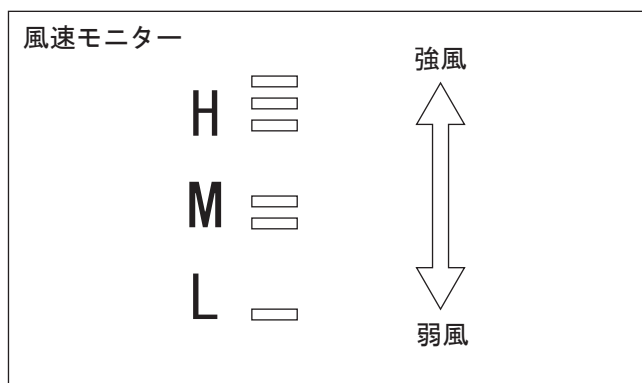
### スイングスイッチ

送風モード、または冷風モードの時にスイングスイッチを押すとスイング表示灯が点灯し、風向きが左右にスイングします。もう一度、スイングスイッチを押すとスイングが停止します。



### 風量スイッチ

送風モード、または冷風モードの時に風量スイッチで風量を調整することができます。風量スイッチを押すごとに、三段階に風速を変えることができます。M（中速）→H（高速）→L（低速），→M（中速）  
風速モニターにより風量を確認することができます。



---

## 冷風スイッチ

送風モードで冷風スイッチを押すとウォーターポンプが作動し冷風ランプが点灯し冷風モードになります。吹き出し口からの風が冷風になります。もう一度、冷風スイッチを押すと冷風ランプが消灯し送風モードになります。

### ▲ 注 意

タンクに十分な水がなくなると警告音が鳴り、コントロールパネルに水位警告灯が表示されます。冷風モードから送風モードに自動的に切り替わります。水位警告アラームが鳴った時は、タンクに水を補給して下さい。

## UV 殺菌ランプスイッチ

冷風モードの時にこのスイッチを押すと UV 殺菌ランプ表示灯が点灯し UV 殺菌ランプが作動します。もう一度、UV 殺菌ランプスイッチを押すと UV 殺菌ランプ表示灯が消灯して UV 殺菌ランプが停止します。



## 3-2 リモコン

### 重 要

リモコンの操作をする前にリモコンに付属の電池（単四電池2本）を装填してください。電池を装填する時は電池の＋に注意して下さい。

#### 電源スイッチ

リモコンの電源スイッチを押すとファンブレード動作ランプと風速モニターが点灯し送風モードになります。運転中に電源スイッチを押すと送風を停止し、ファンブレード作動ランプ、風速モニターが消灯します。

#### スイングスイッチ

送風モード、または冷風モードの時にスイングスイッチを押すとスイング表示灯が点灯し、風向きが左右にスイングします。もう一度、スイングスイッチを押すとスイングが停止します。

#### 冷風スイッチ

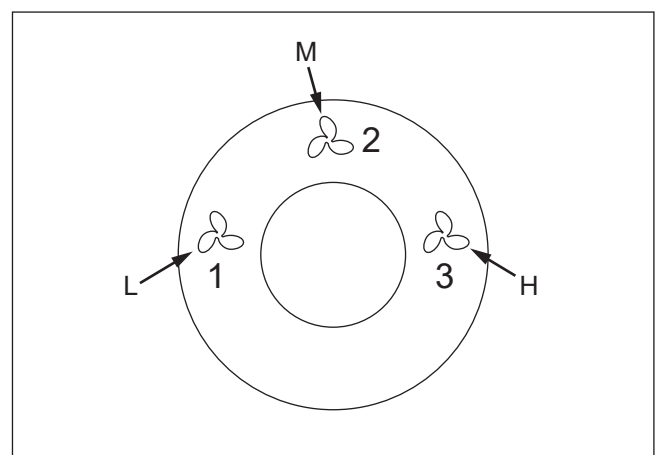
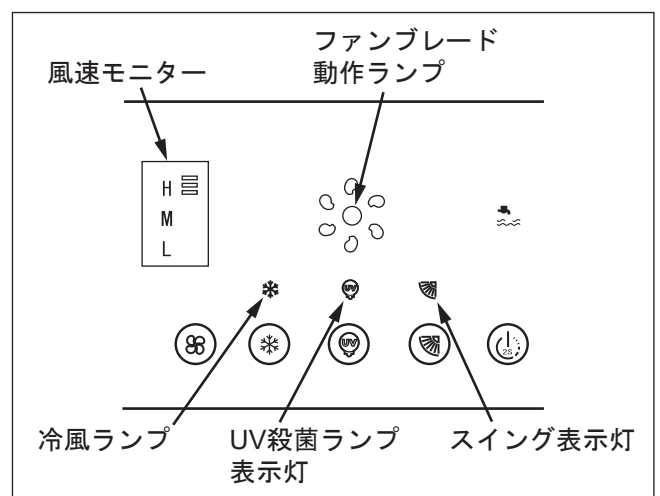
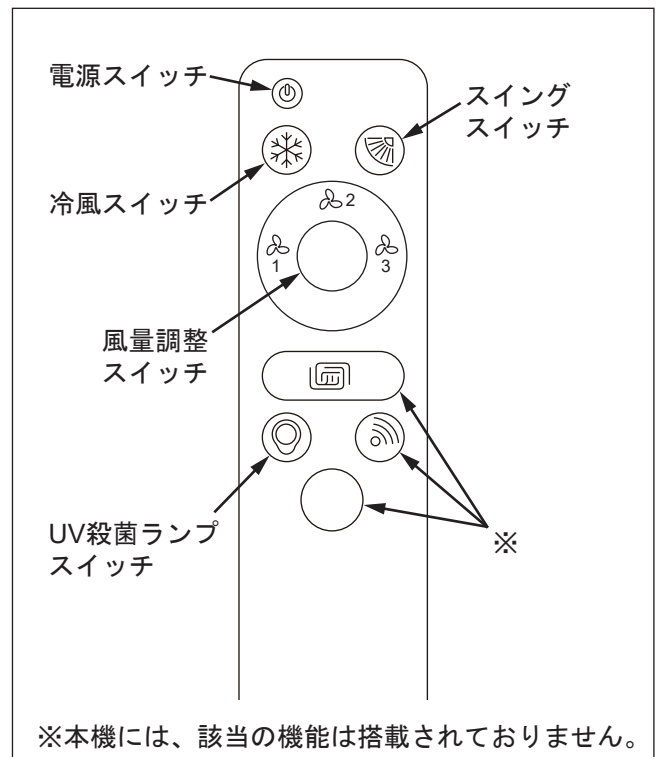
送風モードで冷風スイッチを押すと冷風ランプが点灯し冷風モードになります。吹出し口からの風が冷風になります。もう一度、冷風スイッチを押すと冷風ランプが消灯し送風モードになります。

#### 風量調整スイッチ

送風モード、または冷風モードの時に風量調整スイッチの各スイッチ（H・M・L）で風量を選択することができます。選択した風量が風速モニターに表示されます。

#### UV 殺菌ランプスイッチ

冷風モードの時にこのスイッチを押すと UV 殺菌ランプ表示灯が点灯し UV 殺菌ランプが作動します。もう一度、UV 殺菌ランプスイッチを押すと UV 殺菌ランプ表示灯が消灯して UV 殺菌ランプが停止します。



## 第4章 運転の前に

### ⚠ 注 意

ファンが破損、変形していないか点検して下さい。  
破損、変形している場合はファンを早急に交換して下さい。

冷風機を使用する時は

- 気温：2°C～45°C
  - 湿度：90%未満
  - 水温：0°C～45°C
  - 高度：1000m以下
  - 電圧偏差：10%未満
  - 許容電流：5A以上
  - 腐食性のガスのない場所
- の条件下で使用して下さい。

### 4-1 設置

### ⚠ 警 告

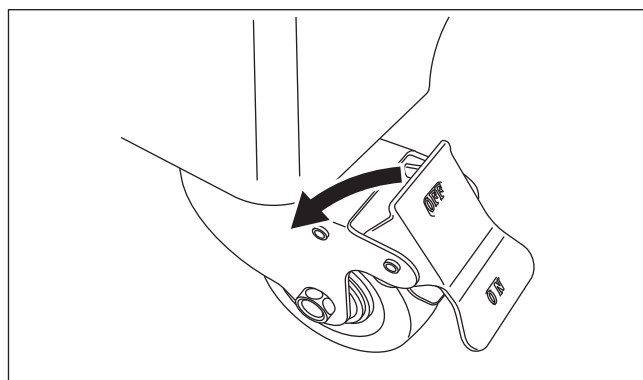
- 爆発性の粉塵・酸・アルカリなどの腐食性ガスが発生、または発生の恐れのある場所では使用しないで下さい。
- 氷結するような場所では使用しないで下さい。
- 塵・埃の少ない場所で使用して下さい。
- 本体が安定するよう、設置する面に凹凸がなく、振動の影響を受けにくい場所に設置して下さい。
- 周辺に吸入されやすい物がなく、ファンの吸気を妨げる物がない場所に設置して下さい。

### ⚠ 注 意

- 冷風機を運転する時は必ず車輪のストッパーをかけて下さい。
- 傾斜のある場所に設置しないで下さい。水漏れによる感電や冷風機が動き事故の原因になります。

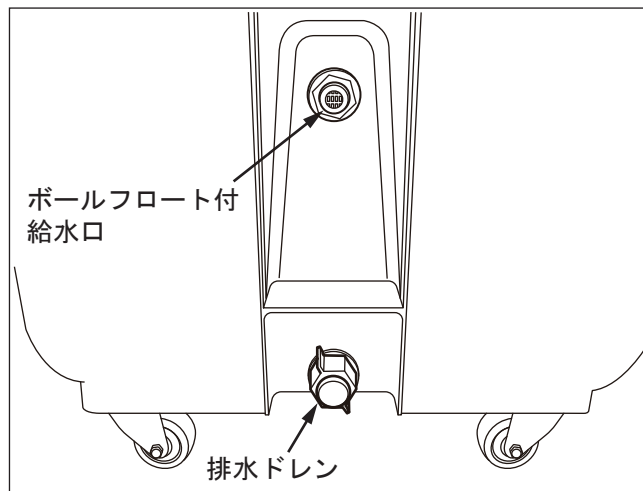
(1) 設置場所は凸凹のない水平な場所に設置します。

(2) 車輪のストッパーをかけます。



## 4-2 給水

(1) 本体後ろ側のタンク底部にある排水ドレンが閉まっていることを確認します。



(2) 本体の上部にある給水口カバーを開けて給水口から、タンクのゲージの「HIGH」位置まで給水して下さい。

### 警告

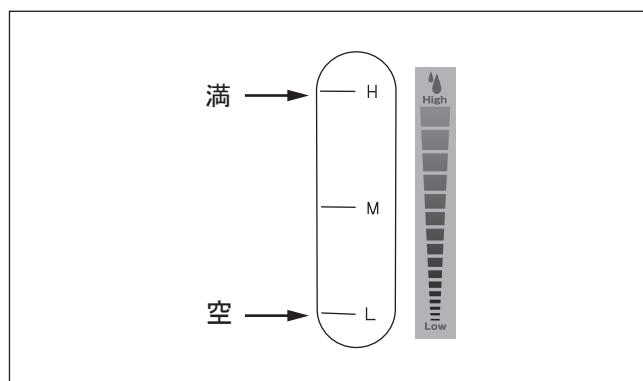
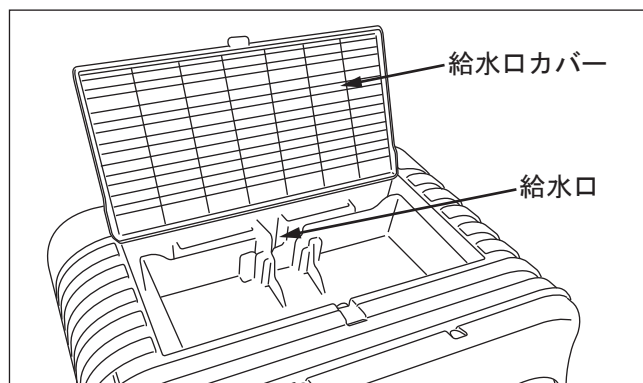
- タンクの水量は常に点検して下さい。
- 使用する水は、水道水を使用して下さい。汚れた水を使用しないで下さい。

### 重要

- 「H」の目盛以上に給水しないで下さい。
- 自動給水をする場合はボールフロート付給水口にホースを接続し、水道の蛇口を開けたままにします。水量がタンクの目盛「M」の下あたりまでくるとタンク内のフロートが作動し、給水を自動的に停止します。

### 注意

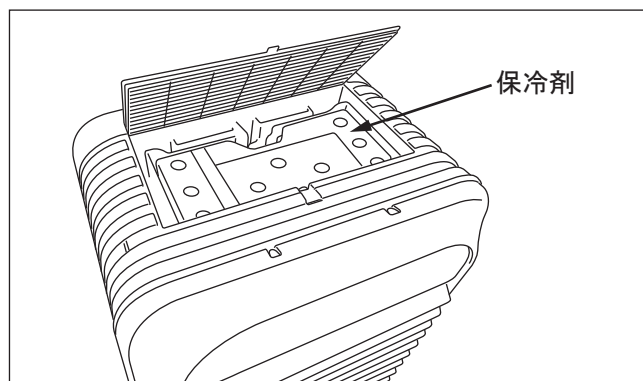
- 0.15MPa ~ 0.6MPa の水圧で給水して下さい。
- 45°C以上の温度の水を使用しないで下さい。



(3) 排水ドレンから漏れがないか確認します。

### 重要

冷風効果をより高めたい場合はトレイに氷や付属の保冷剤を入れて使用して下さい。



# 第5章 運転

## 5-1 運転

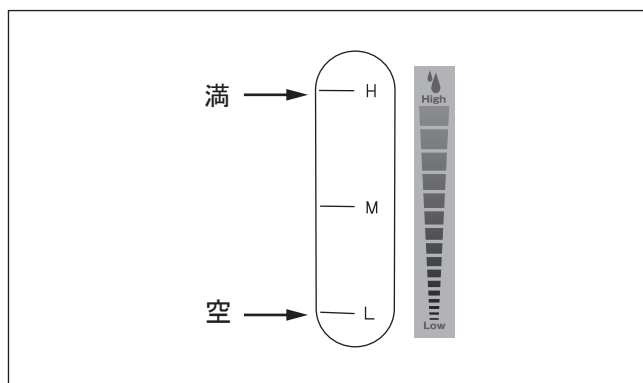
### ⚠ 警告

- 冷風機を運転する時は車輪のストッパーを必ずかけて下さい。
- 必ずアースを接続して下さい。

### ⚠ 注意

運転を開始する前にタンクに十分に水があることを確認して下さい。タンク内に水が十分でない状態で運転を開始すると水位警告灯が点灯します。

- (1) タンクに十分な水があるか確認します。タンクに水がない場合はタンクに水をタンクの「H」まで水をいれて下さい。

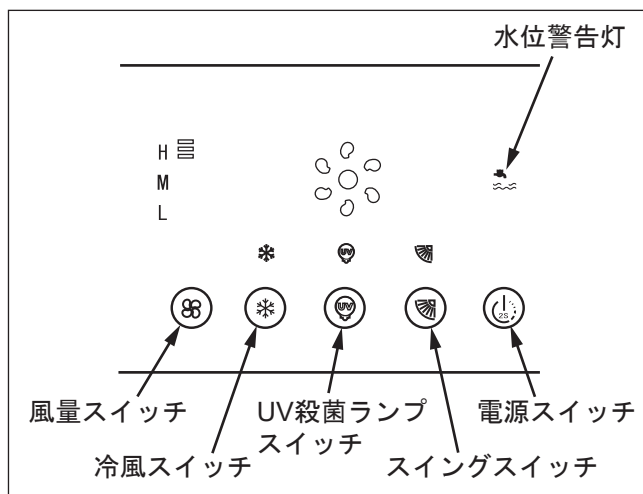


- (2) 電源コードを接続し電源スイッチを **2 秒間長押し** すると、送風を始めます。
- (3) 風量スイッチを押し風量調整します。
- (4) 冷風スイッチを押すと冷風モードになり冷風を送風します。

### ⚠ 注意

タンクに十分な水がなくなると警告音が鳴り水位警告灯が点滅します。同時に冷風モードから送風モードに自動的に切り替わります。

- (5) スイングスイッチを押すと送風の向きを左右にすることができます。
- (6) 冷風モードのときに UV 殺菌ランプスイッチを押すと UV 殺菌ランプが作動します。



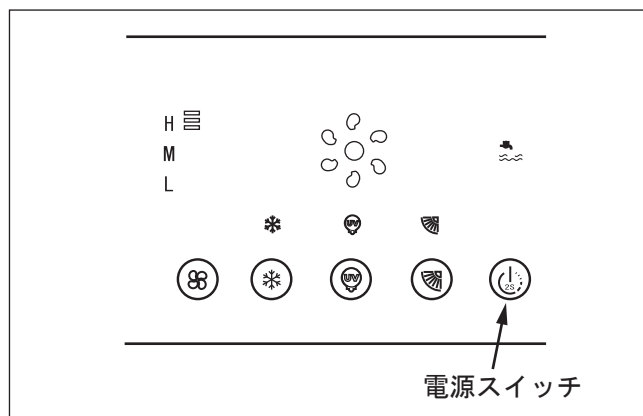
# 第6章 停止

## 6-1 停止

電源スイッチを**2秒間長押し**すると冷風機が停止し送風が止まります。

### ⚠ 注 意

- 運転を終了する時は送風モードで10分位、運転し冷却エレメントを乾燥させて下さい。
- 冷却エレメントを湿ったまま放置するとカビ、雑菌の発生の原因になります。



# 第7章 保守、点検

## ⚠ 警告

保守、点検を行う時は電源プラグを抜いて下さい。

## ⚠ 注意

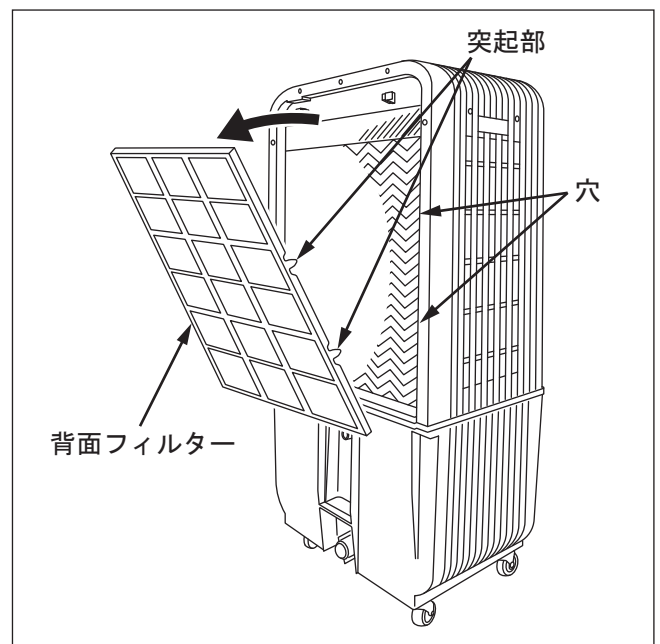
- 修理等が必要な異常が見つかった場合は販売店にご相談下さい。
- 定期的にタンク内の水を入れ替え、フィルター冷却エレメントを掃除して下さい。
- タンク、ファンの清掃は必ず、中性洗剤と柔らかい布を使用して下さい。

### 7-1 背面フィルターの清掃

- (1) 背面フィルターのネジ2本取り外し、後方にフィルターを取り外します。
- (2) 水道水でフィルターを清掃します。
- (3) 水分を十分に取除いてから背面フィルターの突起部を冷風機本体の穴に入れ元のとおりにつけて下さい。

## ⚠ 注意

- フィルターを洗浄には、酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないで下さい。
- 週に一度は背面フィルターを清掃して下さい。塵埃の多い場所で運転するときは、週に一回以上清掃して下さい。フィルターの目詰まりすると冷風機の故障や能力低下の原因になります。
- 背面フィルターは隙間のないよう確実に取付けて下さい。



## 7-2 冷却エレメントの清掃

- (1) 電源プラグを抜き、側面フィルターのネジ (2 本) を外して、側面フィルターと冷却エレメントを取り外します。
- (2) 背面フィルターのネジ (2 本) を外して背面フィルターと冷却エレメントを取り外します。
- (3) 水道水でフィルターと冷却エレメントを清掃します。

### ⚠ 注 意

- 洗浄の水圧が高すぎないようにしてください。
- フィルター、冷却エレメントの洗浄には、酸性またはアルカリ性の洗剤は使用しないで下さい。
- 週に一度はフィルターを清掃して下さい。フィルターが目詰まりすると冷風機の故障や能力低下の原因になります。

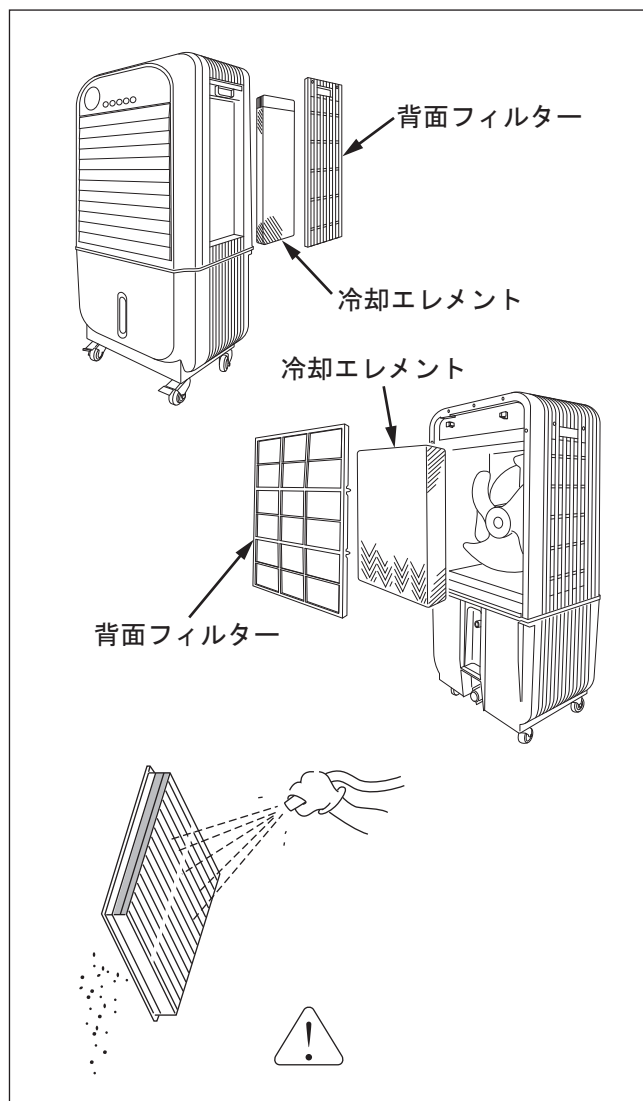
- (4) 水分を十分に取除いてから元のとおりに取り付めます。

### ⚠ 注 意

側面カバーを取付ける時は左右を間違えないように注意して下さい。

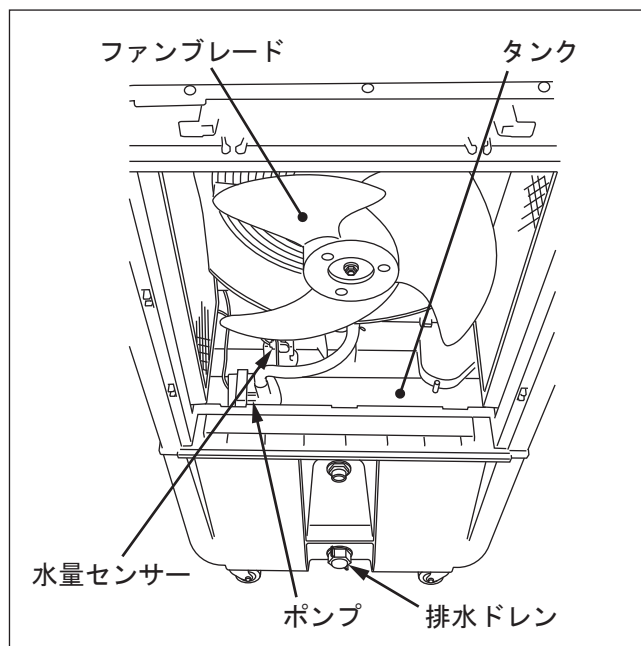
### 重 要

冷却エレメントを清掃する時は側面フィルター、背面フィルターも清掃して下さい。



### 7-3 タンクの洗浄

- (1) 電源プラグを抜き、背面フィルターと冷却エレメントを取り外します。
- (2) 全面下部の排水ドレンを手で開きタンク内の水を排出します。
- (3) 柔らかい布またはブラシでタンクを洗います。
- (4) 湿らせた布で水量センサーの汚れを落とします。
- (5) ブラシでポンプとファンブレードの汚れを落とします。



### 7-4 本体・シャッターの清掃

本体・シャッターが汚れたときは低刺激の洗剤と柔らかい雑巾で清掃して下さい。

#### ⚠ 注 意

泡の立つ洗剤や揮発性溶剤、硬いブラシを使用しないでください。  
誤った洗い方をすると冷風機が損傷することがあります。



# 第 8 章 保管

---

## 8-1 保管

### ⚠ 注 意

- 長期間にわたり保管される場合は、屋内で温度変化の少ない乾燥した場所で保管して下さい。
- 本体に異物が侵入しないようにカバー等で覆って下さい。

冷風機を保管する時はタンクから水を完全に抜きとり、送風モードで1時間以上運転し冷却エレメントが完全に乾いてから保管して下さい。

# 第9章 トラブルシューティング

## 9-1 トラブルシューティング

症 状	原 因	解決方法
A. 電源の ON/OFF ができない	a. 電源に接続されていない b. コントロールパネルの故障 c. ヒューズが断線している	a. 電源プラグを点検して下さい。 b. コントロールパネルを交換して下さい。 c. ヒューズを交換して下さい。
B. 頻繁にヒューズが飛ぶ	a. ポンプの故障	a. 新しいポンプに交換して下さい。
C. 水が漏れる	a. 機械が傾いている b. タンクの水漏れ c. 排水ドレンのナットがゆるんでいる	a. 機械を水平な場所に移動させて下さい。 b. タンクを修理して下さい。 c. 排水ドレンのナットを締めて下さい。
D. 大きな音がする	a. ファンブレードの汚れや変形、破損 b. 吸気口または送風口に異物がある c. モーターが劣化している	a. ファンブレードの掃除または交換を行って下さい。 b. 吸気口または送風口を掃除して下さい。 c. モーターを交換して下さい。
E. 風が出ない、または弱すぎる	a. 冷却エレメントまたはフィルターの目詰まり b. ファンが作動していない、または回転が遅い	a. 冷却エレメントとフィルターの掃除または交換を行って下さい。 b. モーターが故障していないか確認して下さい。
F. 冷風にならない	a. タンクの水が少なすぎる b. 水量制御システムの故障 c. ポンプの故障 d. コントロールパネルの故障	a. タンクに水を足して下さい。 b. 水量センサーを点検して下さい。 c. ポンプを点検して下さい。 d. コントロールパネルを交換して下さい。
G. タンク内や冷却エレメントに白いものが付着する	a. 水の硬度が高すぎる	a. 洗浄回数を増やして下さい。
H. リモコンの操作ができない	a. リモコンに電池が装填されていない b. 電池が切れている	a. 電池を装填する b. 新しい電池に交換する
I. 送風、冷風時に異臭がする	a. タンク内の水が汚れている、または腐っている b. 冷却エレメントに雑菌やカビが発生している	a. タンク内を洗浄して、新しい水に入れ替えて下さい。 b. 冷却エレメントの清掃または交換を行って下さい。

# パワフル冷風機 MPR40 保証書

本保証書は日本国内のみ有効です。 This Warranty is valid only Japan

お客様の正常なご使用において万一故障が発生した場合は、当保証書記載の規定により、無償で交換または修理させていただきます。

- 保証期間内（お買上げ日より6ヶ月間）に正常なご使用状態において万一故障が発生した場合は、無償で交換または修理させていただきます。その際はお買上げの販売店にご連絡下さい。
- 次のような場合には保証期間内の故障でも有償とさせていただきます。（郵送料等諸掛りはお客様のご負担となります。）
  - 本保証書にお買上げ日及び販売店名の記入・捺印が無い場合。
  - 誤用・乱用及び取扱不注意、取扱説明書の禁止事項による故障又は損傷の場合。
  - 弊社指定の販売店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
  - 火災・地震・水害及び盗難等の災害・不適切は移動・落下などの場合。
  - 使用中に生じたキズ・汚れなどの外観上の変化、ガソリン・エンジンオイルなどの汚れ。
  - 付属品の交換。
  - 原因が本製品以外に起因する場合。
  - 本保証書の指示がない場合及び必要事項の記入が無い場合。

製品名	MPR40	本製品番号	
お客様	ご住所 〒		
	ご氏名		
お買上げ日	年 月 日	保証期間	お買上げ日より6ヶ月間
販売店	ご住所 〒		
	ご氏名		

本保証書は製品番号、お買上げ日、販売店の記載がない場合は、無効とします。

必ずご確認ください、記入なき場合はお買上の販売店にお申し出下さい。

この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償で交換又は修理をお約束するものです。

したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

